



吉川友子後援会報

2019(令和元)年 5 月

あなたとわたし 友&愛

No 27

発行：吉川友子後援会
会長 上野昭久
会計 高塚紀之

幹事長 田村至
事務局長 滝沢さや香



3月議会で**2019年度予算が可決されました**

一般会計 468 億円

- ・私も一般質問で要求してきましたが、外国人英語講師が全員 JET プログラム(自治体が国の協力で実施している外国青年招致事業)を通しての雇用となります。給与や休暇も確保された直接雇用です。
- ・佐久平駅南、樋橋地区開発について、イオンも含め他社からも公募した結果、カインズホームとフォレストモールが主な出店者と決定しました。

5月の臨時議会で新しい委員会構成が決まりました。

友子議員が所属となった委員会等は次の通りです。

- 委員会・・・社会委員会、議会運営委員会、広報広聴特別委員会(委員長)
- 一部事務組合・・・浅麓環境施設組合、川西保健衛生施設組合、佐久水道企業団、北佐久郡老人福祉施設組合

会派「新政ネット」(佐久市議会 12 名)で**沖縄へ視察**

宮古島 地下ダム資料館

世界初の大規模地下ダムで、サトウキビやたばこ生産に活用されています。

エコアイランド構想(宮古島市)

自然エネルギーを使い、できる限り地産地消を目指すという取組みです。

あいあいファーム(今帰仁村)

小学校の廃校を使い、宿泊、体験、飲食施設として運営し、全国からも注目を集めている施設です。

辺野古基地埋め立て 基地予定地として、県民の反対にも関わらず、埋め立てが進められている辺野古。フェンスの中は米軍の戦車や兵士がいて、異様な雰囲気でした。砂浜からフェンスを眺めながら、沖縄出身のバズガイドさんが「辺野古は希少生物も多く穏やかな港で、海が荒れたときに船が避難してくる場所。なくなったらどうなるんだろう・・・」と話してくれました。

普天間基地 世界一危険な飛行場とされる普天間基地。これまで事件事故があまりにも多く、日本中の人々が普天間地域の方たちの人権について真剣に考えなければならぬと感じました。公園の展望台から見た基地はあまりにも市民の住生活に近い存在でした。

平和祈念公園 世界の人々の名が刻まれた平和の礎に手を合わせました。

■前回継続審議にした「米軍基地負担に関する陳情書(基地負担を軽減すべきだ)」を、この視察の後の3月議会で全会一致で採択しました。



タネを守ろう 山田正彦元農林水産大臣 佐久平で講演

私が参加している山田塾の山田先生が2月11日に佐久平交流センターで講演されました。種子の自家採種が規制されていく中で、さらに政府が TPP や FTA などの国際貿易協定締結に向けて国内法をどんどん変えている危険を指摘されました。

「水道民営化」について調べました

昨年12月に国会で改正された水道法により、上水道の運営を実質上『民営化』できるようになりました。民営化すれば経営での収益や効率化が問題になります。水道料金の値上げや、人員削減、それに伴う安全対策の省力化などが心配です。私は、佐久市及びその周辺の水道がどうなるか、市役所や企業団に出向き、調査しました。

佐久市のほぼ全域の水を担っている佐久水道企業団では「民営化はしない」と断言され、安心しました。しかし、小諸市は昨年12月に水ingという会社と共同企業体「株式会社水みらい小諸」を設置し、今年10月より指定管理で運営を開始します。この共同企業体への小諸市の出資は35%です。佐久市の中でも御牧原は小諸水道なのです。東御市では以前から検針や集金などを委託していたヴェオリア(世界的に有名なフランスの会社で、世界各地での民営化で問題になっている)へ委託業務を拡大すること。立科町、御代田町、軽井沢町はこれまでと変わらないとのことでした。小諸市と東御市はこれからの状況を注視していく必要があります。

ツキヒト味噌、完成!

私もメンバーである「もちづきツキ・ヒト満ちるプロジェクト」では、地域の大切な伝統や文化を受け継ぎ、次の代へと渡していきたいという想いで活動しており、さまざまな勉強やイベントなどを行っています。その中の活動の1つとして「ツキヒト味噌プロジェクト」があります。

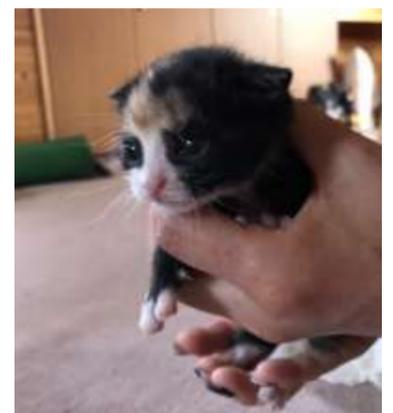
おんなしょうの会の安定した味噌づくりを教えていただきながら、私たちに材料を工夫して、昨年初めて自分たちの味噌を仕込みました。1年たって樽を開けてみると新しい味噌の美味しい香りと共にきれいな味噌が待ち構えていました。望月にちなんで、新月に仕込み、月と共に満ちていく味噌、ぜひお試しください。



「猫」の里親ボランティアに参加

友人が「捨て猫」を拾いました。飼い主が見つかるまでということで預かり、赤ちゃん猫の世話を始めました。はじめは目が開いたばかりの猫ちゃんでしたが、3週間もすると遊んだり、ジャンプしたりできるようになり、子猫らしさ満喫のかわいさです。仲間のネットワークにより、世話に必要なものも集まり、貰い手も決まりました。

そんな活動から、野良猫や増えすぎてしまった猫たちの捕獲・去勢活動をしている「そらねこ会」の方を紹介していただき、活動の様子を見せていただいたり、新しい赤ちゃん猫を預かったりしています。人間同様、夜中のミルクもあります。佐久市では猫の去勢手術に補助を出しており、ガバメントクラウドファンディング(特定の目的のためにふるさと納税の制度を使い寄付を募るもの)を行ったところ、多くの方々に賛同していただきました。動物と共存する社会に向けて、活動している方々のお手伝いが少しでもできれば、と思っています。



私の手の中で安心する子ネコ

この会報を読みたいという人がご近所やご親戚やお友だち、周りの人におられましたら、ご連絡ください。お届けします。また、ご意見もいただければ、うれしいです。 連絡先 ■上野昭久 0267-53-2543 吉川友子 0267-53-2300 携帯 090-9003-8116 Eメール 2013tomoko@gmail.com

第四回定例議会が2月22日から3月22日まで開催され、吉川議員は一般質問に登壇しました。

佐久市でも増加する

児童虐待の相談件数

(吉川) 虐待には身体的なものもあれば、心理的なものもあります。性的なものや無視や育児放棄などのネグレクトもあります。これを受けた心の痛みは長期にわたるなかなか消えないものなのです。早めに発見して、対応することが必要です。全国や長野県では毎年1割くらいずつ相談件数が増えています。

過去3年間に市が受けた児童虐待相談件数について伺います。

	全国	長野県	佐久児相
H27	103,286	1,761	283
H28	122,575	1,909	316
H29	133,778	2,048	289
前年度比	11,203	139	-27

佐久市への相談件数

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待
H27	7	0	10	10
H28	19	1	12	41
H29	19	0	11	31

(吉川) 福井大学の小児精神科医である友田明美先生は、虐待と脳への影響について

研究しておられ、身体的虐待は身体のみならず、脳の前頭葉(感情や思いをコントロールし、犯罪抑制力にもなっている)に影響があると発表しています。

虐待に関する通報や相談への対応について伺います。

(福祉部長) 保育園や幼稚園、学校、医療機関など実際に児童と接している機関からの通報が多い状況です。また、近年は近隣住民など地域の方からの通報も増えています。市の対応ですが、通報などを受けた際には原則市職員が48時間以内に対象児童の安全を直接確認するなど、まずは状況把握を行っています。

(吉川) 初期対応は子どもの生死を分けてしまつて重要なものです。きちんと専門家へつなぐ体制を強化していただきたいです。地域でも子どもたちの様子に気を配って、見守る必要があると感じています。

虐待予防のための取り組み

(吉川) 虐待によって全国では毎年50人前後の子どもが死亡しています。長野県でもゼロではありません。この虐待死の中で特に多いと言われているのが、0日虐待死です。15年〜28年の間の心中以外の虐待死は合計で72人になります。そのうち半数近い345人は0才で、159人が生後1か月以内、135人は生後24時間以内に死亡しています。そのような子どもや、一人で悩んでいるお母さんに対して、手を差し伸べることはできないか、佐久市としても考えていただきたいです。熊本県の赤ちゃんポストでは11年間で130人以上の赤ちゃんが預けられ、命を絶つことなく成長しています。この赤ちゃんポストは存在自体反対する人もいますが、まず赤ちゃんの命を救うことを最優先として考えると、必要な存在であって、もっと全国的に設置されていれば助かる命も増えるのではないかと思わされます。佐久市では、妊娠期から子育て期における虐待予防として、どのような取

り組みをおこなっているのでしょうか？

(福祉部長) 「母と子のすこやか相談室」、乳児家庭全戸訪問事業の「こんにちは赤ちゃん」、家庭児童相談事業、つどいの広場、子育てなんでも相談室、子育てサロン事業、児童館の午前中開放事業、小中学校の児童生徒及び保護者に対する啓発などです。

国連「子どもの権利条約」の理念を生かして

(吉川) 日本も批准している国連の「子どもの権利条約」によると、虐待は子どもへの権利侵害です。参加する権利、生きる権利、育つ権利、守られる権利の4つが大きな柱となっている国際条約です。また、日本においても児童福祉法の2016年の改正によって子どもの権利条約の精神が理念に掲げられる法律となり、子どもが権利の主体として位置付けられました。子どもたち自身が権利の主体として、権利についてどのような機会に学んでいるのか、伺います。

(市民健康部長) 子どもの人権に関わる問題を解決していくためには、子どもたちが自身の権利に気づくこと共にお互いの異なる点を個性として尊重するといった人権意識を養っていくことが大切です。市では子どもの人権問題を正しく理解していただくための各種研修会を開催しています。

(吉川) 子ども虐待について相談できる、専門家を含めた機関が必要だと考えます。全国に先駆けて第三者機関である子どもオンブズパーソンを設立した兵庫県川西市はすでに20年活動しています。佐久市でも弁護士など専門家を含めた第三者機関を設立することを提案致します。

学校給食の食材に残留する

除草剤グリホサートの危険

(吉川) グリホサートはベトナム戦争時の枯葉剤で有名なモンサントが開発した除草剤ラウンドアップの主成分であり、世界で最も多く使われてきた除草剤です。著作

権が切れたため、今はラウンドアップ以外にも様々な商品名で販売されています。

ラウンドアップが発売された1974年より86億キロのグリホサートが世界中で使われています。1996年に遺伝子組み換え作物が栽培され始めてから使用量は15倍にも増えています。

2015年3月、WHOはグリホサートを発がん性物質2A(おそらく発がん性がある)にランクしました。グリホサートの健康被害は、ガンのみならず、消化器系の疾患、内分泌の異常、自己免疫疾患、不妊(男性、女性)、糖尿病、精神疾患、自閉症、認知症などの精神系疾患など多岐にわたる可能性が指摘されています。

遺伝子組み換え作物は、除草剤をまいても枯れない種子と除草剤をセットで普及しているのです。遺伝子組み換えでなくても小麦や大豆の刈り取りの前にグリホサート系の除草剤を撒いて乾燥の手間を省くという栽培の仕方(フーハーベスト)をしているケースもあります。しかし残念なことに、農林水産省は2017年12月にグリホサートの残留基準値を大幅に緩和しているのです。

学校給食ではどのくらいの割合で輸入

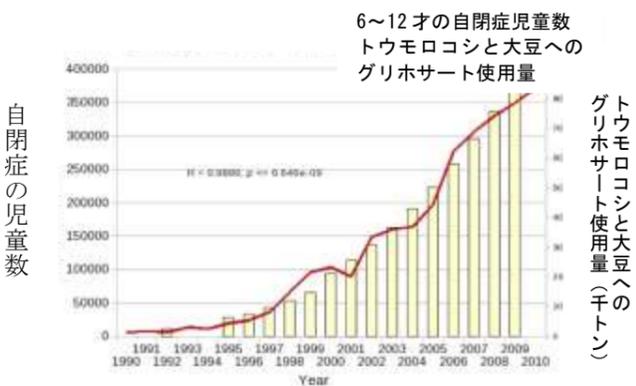
小麦を使っているのでしょうか？

(学校教育部長) 学校給食で小麦粉を使用している食材は主にパンと麺です。学校給食ではパンの日が週2日、麺はパンの日のうち月に1〜2回を提供しています。学校給食で使用しているパン及び麺については広域財団法人長野県学校給食会に委託しています。給食用のパン、中華麺の小麦については、県内産が35%、北海道産が45%、外国産は20%という割合になっています。学校給食用のフト麺は、県内産を100%使用しています。

(吉川) 微量の摂取でも肝臓や腎臓に悪影響を及ぼすという研究結果も出ています。特に子どもたちは影響を受けやすいのです。ヨーロッパの多くの国々やアメリカ、カナダの一部では、グリホサートの使用禁止や縮減に向けて動いています。

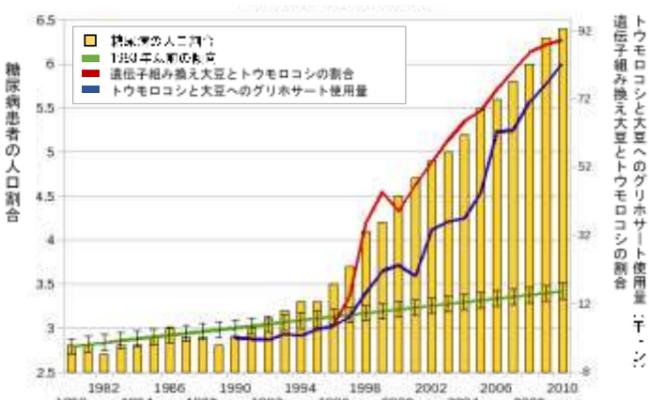
佐久市の保育所・学校給食においても、限りなく安全な食材を使っていきたいと思

アメリカにおけるグリホサート使用量と自閉症の数



2つのグラフは議会に提出した資料です

アメリカにおけるグリホサート使用量と糖尿病患者の人口割合



総務省行政評価局へ勉強に行きました。